

報道関係者 各位

2024年7月8日
野原グループ株式会社

日本初開催！
第10回 ICCEPM 建設技術とプロジェクト管理に関する国際会議
野原グループ CEO 野原弘輔が「建設現場の痛みと、建設産業の持続可能性」をテーマに登壇
～2024年7月30日13時開始、北海道大学学術交流会館にて～

BuildApp（ビルドアップ）で建設DXに取り組む野原グループ株式会社（所在：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、日本で初開催される「ICCEPM2024」（第10回 ICCEPM 建設エンジニアリングとプロジェクトマネジメントに関する国際会議）において、2024年7月30日（火）13時に、野原グループ株式会社 代表取締役社長、グループCEOの野原弘輔が登壇することをお知らせいたします。また、同会場にて7月30日（火）、7月31日（水）には、国内外6社による展示ブースも設けられ、野原グループも出展をいたします。

ICCEPM（International Conference on construction engineering & project management）は、建設技術とプロジェクト管理に関する研究と教育を推進する国際的な組織で、2年に1度の会議を開催していますⁱ。

10回目の開催となる「ICCEPM2024」は、日本では初開催となり、北海道大学学術交流会館を会場に、7月29日（月）から7月31日（水）まで三日間にわたり開催されます。この会議には、世界中の学者と企業が集まり、最新の研究成果発表や、企業が取り組む建設DXやBIMベースのプロダクトなどの革新的なアイデアの共有が行われます。

▶野原グループ株式会社 代表取締役社長
グループCEO
野原弘輔（のほら こうすけ）



野原グループは、建設資材の流通や内装工事会社との商取引の実績を活かし、建設サプライチェーン全体の効率化に向けた建設DX推進事業に注力しています。近年は、建設サプライチェーンでの共通データ活用を目指すBuildApp（詳細は後述）の開発を進め、総合建設会社との実証実験も重ね、持続可能な建設産業の在り方を追求し続けております。この度、主催者の共同コンソーシアム様より直接ご依頼を受け、「革新的なテクノロジーが研究や産業の限界を超えて持続可能な建築環境をどのように形成するか」をテーマとする「ICCEPM2024」への野原弘輔の登壇が決定いたしました。

野原弘輔は、「建設現場の痛みと、建設産業の持続可能性」と題し、日本の建設産業が抱える課題や、内装工事会社との商取引の実績から知り得た、内装仕上げ工事業の実態についての調査結果を発表、またBuildAppが目指す「データ連携による施工プロセスの革新（=工業化）」について紹介予定です。

記

1. 会議開催概要

会議名	ICCEPM2024 (The 10th International Conference on Construction Engineering and Project Management) / 第10回 ICCEPM 建設技術とプロジェクト管理に関する国際会議
主催者	ICCEPM 共同コンソーシアム

テーマ	革新的なテクノロジーが、研究や産業の限界を超えて持続可能な建築環境をどのように形成するか
会期	2024年7月29日(月)から7月31日(水) ※7月29日(月) 11:00 受付開始
会場	北海道大学 学術交流会館 (北海道札幌市北区北8条西5丁目)
受付方法	一般聴講者は当日会場にて記帳
URL	https://iccepm2024.com/

2. 登壇情報

登壇者	野原グループ株式会社 代表取締役社長 グループ CEO 野原弘輔
テーマ	建設現場の痛みと、建設産業の持続可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の建設産業が抱える課題 ・施工終盤の専門工事である、内装仕上げ工事業の実態についての調査結果 ・BuildAppが目指す「データ連携による施工プロセスの革新(=工業化)」
日時	2024年7月30日(火) 13:00 開始
会場	北海道大学 学術交流会館 (北海道札幌市北区北8条西5丁目) 小講堂
その他	一般聴講可能

3. 野原グループのブース出展概要

展示	<ul style="list-style-type: none"> ・BuildAppの全体像 ・BuildAppの内装・建具工事向けサービスの実機デモ 他
日時	2024年7月30日(火)、7月31日(水)
会場	北海道大学 学術交流会館 (北海道札幌市北区北8条西5丁目) 1階ロビー
その他	一般見学可能

以上

BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム「BuildApp」について ※登録商標取得済み



建設プロセスに、革新と未来を。

「BuildApp (ビルドアップ)」は、設計事務所やゼネコンが作成した BIM 設計データをより詳細なデータに置き換え、各建設工程に必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までを BIM でつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供します。そして、設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2 削減に貢献します。

「BuildApp」は、建設サプライチェーンの抜本的な効率化と未来へ繋がる成長をサポートし、皆さまと一緒に建設業界をアップデートしていきます。



私たちが BuildApp で実現したいこと

- ・ BIM 起点のデータで建設関係者を繋いで連携を生む
- ・ 工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消する
- ・ DXⁱⁱによる生産性向上や廃材・CO2 排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーンⁱⁱⁱを変革し、「建設 DX で、社会を変えていく」

<お問い合わせ先>

BuildApp WEB	https://build-app.jp/		
お問い合わせ先	フォーム入力	https://build-app.jp/contact/	
	メール	info@build-app.jp	電話 03-4535-1158

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。



建設DXで、社会を変えていく

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量やCO2の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社

マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：森田・齋藤・萩谷）

E-Mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱ ICCEPMの詳細は、ICCEPMコンソーシアムのWEBサイトをご覧ください。<https://www.iccepm.org/>

ⁱⁱ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省の定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。

ⁱⁱⁱ サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのことをいいます。